[BMW/MINI] EPB パーキングブレーキ整備モード (例:5 シリーズ F10)

概要

「パーキングブレーキ整備モード」は以下の作業を行う時に使用します。

- ・ブレーキパッドの交換
- ・ブレーキキャリパーの交換
- ・EMF アクチュエーターの交換

手順/操作

1. 整備モード開始方法



3.	『車種選択』画面が表示されますので、 車種を選択して、[ENTER] を押します。	BMW 診断ソフト 1 シリーズ 2 シリーズ 3 シリーズ 4 シリーズ 6 シリーズ 7 シリーズ 7 シリーズ ENTER : 選択 EXIT : 戻る 5 シリーズ EE0,E61 F10,F11 ENTER : 選択 EXIT : 戻る ENTER : 選択 EXIT : 戻る
4.	車両情報の読出しを行われますので、 しばらくお待ち下さい。	車両搭載システム確認中… しばらくお待ち下さい 0%
5.	『BMW メインメニュー』画面から <mark>〔作業サポート〕</mark> を選択して [ENTER]を押します。	BMW メインメニュー でで、 診断 ENTER:選択 EXIT:戻る
6.	車両搭載システムの確認が始まります。	作業サポート イニシャライズ中… しばらくお待ち下さい 0% インストルメント

7.	車両の日付および時刻の設定画面が 表示されますので、現在の日付と時刻を 入力して [ENTER] を押します。 *ここで [EXIT] を押すと、EPB 整備モード等の 作業サポートの項目が表示されなくなります。	今日の日付 YYYY / MM / DD 2015 / 06 / 2 A・: 番号選択 ・・: 左右選択 ENTER:決定 EXIT:キャンセル 現在の時間 時(0-23):分 12:3 ・・: 番号選択 ・・: 左右選択 ENTER:決定 EXIT:キャンセル
8.	日付と時刻の設定が開始されます。	日付と時刻の設定 イニシャライズ中… しばらくお待ち下さい インストルメント
注意: 右の画面が表示された際は、車両の 日付と時刻の設定 日付と時刻の設定に失敗しました。 単両の日付と時刻の設定に失敗しました。 日付と時刻を車両に設定して下さい。 ENTER:次へ		
9.	『作業サポート』画面から、 〔EPB 整備モード〕 を選択して [ENTER] を押します。	作業サポート 車体番号読取 データレベル読取 CBS リセット、選択 1 CBS リセット、選択 2 スターター交換 バッテリー交換 EPB 整備モード ENTER:選択 EXIT: 戻る

10.	EPB 整備モードについての説明が 表示されますので、内容を確認して [ENTER] を押して下さい。	EPB 整備モード この機能は以下の修理の際に使用します。 ・ ブレーキバッドの交換 ・ ブレーキキャリバーの交換 ・ EMFアクチュエーターの交換 ENTER:次へ EXIT:中止
11.	『EPB 整備モード』画面から、 【作動(キャリパを開く)〕 [ENTER] を押します。	EPB 整備モード 作動(キャリバを開じる) 解除(キャリバを閉じる) ENTER:選択 EXIT:戻る
12.	パーキングブレーキが解除されているかの 確認の画面が表示されますので、 パーキングブレーキを解除してから、 [ENTER] を押します。	EPB 整備モード バーキングブレーキが 解除されているか点検します。 バーキングブレーキを解除して下さい。 ENTER:次へ EXIT:中止
13.	パーキングブレーキの状態の確認が始まります。	EPB 整備モード イニシャライズ中… しばらくお待ち下さい
14.	パーキングブレーキが解除されている場合、 整備モード開始の画面が表示されますので、 [ENTER] を押して下さい。	EPB 整備モード パーキングブレーキの解除が 正常に検知されました。 次のステップで、整備モードへ移行します。 次のステップで、整備モードへ移行します。 ENTER:実行 EXIT:中止

15.	整備モードへ移行されます。	EPB 整備モード 作動中 しばらくお待ち下さい
16.	「整備モードに移行しました」の画面が 表示されましたら、イグニッションスイッチを OFF にして交換作業を行って下さい。	EPB 整備モード 整備モードに移行しました。 イグニッションをオフにしてから 作業を行って下さい。 ENTER/EXIT:終了
エラー 通信に笑 条件なる	夫敗すると、右の画面が表示されます。 どを確認してもう一度行って下さい。	ERROR 通信が確立出来ません! ユニットが装備されていないか、 ソフトが対応していません EXIT:戻る EMFパーキングブレーキが解除されていません。 EXIT:戻る EXIT:戻る

2. 整備モード終了方法

Г

「 <mark>1.整備モード開始方法</mark> 」の 1~11 迄進めて下さい。		
1.	イグニションスイッチを OFF にした後、 ダイアグコネクターに TPM-R を接続します。 その後、イグニションスイッチを ON にします。	EPB 整備モード 作動(キャリバを開く) 解除(キャリバを閉じる) ENTER:選択 EXIT:戻る
2.	「整備モードを解除します」画面が 表示されますので、[ENTER] を押して下さい。	EPB 整備モード 次のステップで、整備モードを解除します。 ENTER:実行 EXIT:中止
З.	整備モードの解除が開始されます。	EPB 整備モード 作動中 しばらくお待ち下さい

		EPB 整備モード
	パーキングブレーキの機能点検を行う画面が	
	表示されますので、必ず画面に表示される作業を	バーキングブレーキの機能点検を行います。
	行って下さい。作業を終えましたら、	機能点検によってパーキングブレーキの
	[ENTER] を押して進めて下さい。	キャリブレーションが実行されます。
		ENTER:次へ
		EPB 整備モード
Л		バーキングブレーキスイッチを引いて下さい (作動には約5秒かかります)。
7.		
		ENTER:次へ
		EPB 整備モード
		バーキングブレーキスイッチを押して下さい
		(解除に(は約3秒かかります)。
		FNTER、ケム
	「整備モードを解除しました」の画面が	EPB 整備モード
	表示されましたら、パーキングブレーキが	
F	作動するか確認して下さい。	整備モードを解除しました。
Э,	その後、故障コードを消去して下さい。	
		ENTER/EXIT:終了
エラー		ERROR
		通信が確立出来ません!
通信に失敗すると、右の画面が表示されます。		ユニットが装備されていないか、
条件などを確認してもう一度行って下さい。		ソフトが対応していません
		 EXIT:戻る